

三保・羽衣謡隊スペシャルワークショップ

三保松原・羽衣めぐり

能「羽衣」の世界観を伝説の地で実体験

羽衣伝説をもとに三保松原を舞台に演じられる能「羽衣」。その舞台でうたわれる謡曲「羽衣」の詞章でつづられる言葉は天女が三保の稀有な美しさを言祝ぎ、その当時の三保の景観が織り込まれています。羽衣の詞章とともに三保松原をめぐる。謡曲を聞き、言葉を発し、味わいながら日本文化芸術の源泉である三保松原を体感する特別なワークショップです。



案内人は宝生流能楽師シテ方の佐野登氏（重要無形文化財総合指定保持者）。このプログラムは三保松原に隣接する静岡市立清水第五中学校の1年生の授業で地域文化～自国の伝統文化を学びながら郷土愛を育む目的で総合的な学習の一環で佐野氏によって20年以上継続して実践されているものです。

日時：2020年10月10日（土）※雨天時には内容を変更して行います。

14:00～（所要時間約90分間）

場所：みほしるべ（静岡市三保松原文化創造センター）

対象：静岡県内在住者

申込・お問合せ：nohaku.utaitai@gmail.com（能楽謡隊協会事務局）

●この催しは毎年開催される「羽衣まつり」（本年はコロナ感染症拡大のため中止）の三保羽衣薪能の舞台でご当地ソングである謡曲「羽衣」を市民みんなであうたう「三保・羽衣謡隊」の発表の代替として実施されます。ワークショップの最後に「三保・羽衣謡隊」による謡曲「羽衣」の発表をいたします。